

(臨床研究に関する公開情報)

岡山医療センターでは、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名]

消化管利用膀胱拡大・代用膀胱術後の排便状況について

[研究責任者]

小児外科 中原康雄

[研究の背景]

先天性疾患や悪性腫瘍のため、消化管を膀胱拡大術や代用膀胱を施行する場合があります。回盲部や小腸、S状結腸などを状況に応じて用いますが、その術式によっては術後の便性が悪くなる場合もあり、術後排便のコントロールに難渋する場合がありますその実情の把握は重要です。

[研究の目的]

本研究は、消化管利用膀胱拡大・代用膀胱の術式が術後の排便状況に及ぼす影響について検討することが目的となります。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2001 年から 2021 年の期間に当院小児外科で消化管利用膀胱拡大もしくは代用膀胱手術を施行された患者さん。

●研究期間

臨床研究審査委員会承認後、実施許可日から 2022 年 6 月 30 日まで

●利用する検体、カルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液、尿、画像）、排便状況、排尿状況

●検体や情報の管理

検体や情報は、当院のみで利用します。

[研究組織]

この研究は、当院のみで実施されます。

[個人情報の取扱い]

検体や情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。検体や情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

[問い合わせ先]

国立病院機構岡山医療センター

小児外科 中原康雄

電話 086-294-9911